

令和6年度 学校運営協議会 第1回議事録(案)

校名	府立生野聴覚支援学校
校長名	田口 登志子

開催日時	令和6年12月5日(木)10:30～
開催場所	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室
出席者(委員)	早野委員 末綱委員 小椋委員 尾中委員
出席者(学校)	校長 田口、教頭 井端・吉岡、事務長 徳留、首席 佐加・中野、部主事 土肥・前田・坂井
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度 学校教育自己診断及び学校経営計画(進捗)他
備考	

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長あいさつ 2. 学校教育自己診断について(資料1) 3. 学校経営計画の進捗について(資料2) 4. その他(事務局から)

協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>2 回収率は児童生徒98.2%、保護者64.7%、教職員98.5%であった。昨年度、保護者については紙ベースでの回答手段もあったのに対し、今回から全てをオンライン回答としたため、やや回収率は下がっている。小学部児童では肯定率が向上しているが、中学部生徒では肯定率が減少し、否定率が増加している。思春期の生徒への対応について、今後の課題と考えている。保護者全体としては、概ね前年度と比較して変化は少ない。教職員では90%以上の肯定率であった項目が増加している。</p> <p>(委員より 感想・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の回収率の向上について考えていることは？一回答方法についての丁寧な説明と、学校教育への関心度を高めていただくための丁寧な取組みを進めていきたい。 ・総じて高い肯定率が出ていると思うので、課題は見据えつつ、できている部分についても保護者や地域にアピールしていいと思う。 ・教職員への新設質問項目「学校には、管理職と教育活動について話ができる機会や場がある。」が他項目より肯定率が低く出ているが？→多くの教職員の意見を広く聞くことができる機会を考え、風通しのいい職場を目指していきたい。 ・児童生徒のキャリア教育について、近年の新しい障がい者雇用の実態を踏まえ、PCの活用能力、当事者自身の多様性理解など、社会の変化に応じた子どもたちに必要な力を考えていくことが必要ではないか。→中学生には、実際に社会で活躍している当事者の話を直接聴く機会を設けたり、デフリンピックをきっかけに人生に見通しを持たせる取組みを行っている。また、高校や企業の見学も併せて行っている。保護者に対しては、校内での小・中学部の見学や他校高等部の見学、企業見学等の取組みを行っている。 ・先輩ろう者の話を聴く機会はモデルを知るとい意味でも大切。ろう者が働く場の職場体験もよいのではないかな。また、幼稚部保護者が小学部に見学に行く機会も、一貫性を持ったろう教育について見通しを持ってもらえるという意味でもとてもよい機会だと思う。 ・肯定率の高い部分も非常に多く、できていることについて共有していくことも大切。「チーム学校」として努力されている姿がうかがえる。 <p>3 人権意識の向上について、いじめ対応に関する自己診断(児童生徒・保護者)は目標値を上回っており、個々の子どもにきめ細かく対応してきた成果が現れていると考えている。さらに地域のさまざまな人々と連携しながら、人権意識の向上に取り組んでいきたい。学校安全総合支援事業により、地域と連携した防災の取組みを進めたいと考えている。日常の防犯や安全を守る取組みについても、地域の方々にご協力いただき感謝している。交流および共同学習においても、東桃谷小学校はじめ近隣の校園との継続的な取組みが身を結び、子どもたちにとって大切な経験となっている。通級については、今年度、途中入級が多く、個々の子どもの課題の発見と支援がきめ細かくできていると考えている。校務の効率化については、学校全体の在校時間は年々減少している。行事の精選や業務の軽減は難しい部分もあり、偏りも存在している。単に時間の削減のみを目的とするのではなく、やりがいや必要度を鑑みながら進めたいと思っている。</p> <p>(委員より 感想・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した取組みを行っていると感じている。通学区域が広く、毎日の通学が大変な中で「この学校に通ってよかった」という保護者の声を聞くのはうれしい。それぞれの地域の指導主事にも、そうした実態を知っていただけるのは意義深いことだと思う。 ・防災について、「きこえない人が」という視点で考えることが大切だと考える。真っ暗な場所、情報のとりにくい場所ですらどうするか、考えていくことは必要だと思う。→文字情報システムは進めているところではあるが、校内のさまざまな場所でのどのような行動が必要かなど、今後考えるべきところがたくさんある。ぜひ知見を共有しながら、より充実した防災体制を構築できるように進めていきたい。 ・地域の区役所とも連携し、お互いに情報提供しながら、より具体的実効的な連携体制を作っていきたい。 ・東桃谷小学校の児童にとっても、継続した交流の機会はとても貴重なものとなっている。また、教職員の連携という意味でも大切であり、子どもを中心にした対応についても交流ができてきており、双方にとって重要な取組みだと思う。 ・働き方改革では、東桃谷小学校では時差勤務や会議の内容の精選、一人一台のPCを活用して、掲示板を活用した情報共有など、少しずつ進めたいと考えている。大変難しいことではあるが、次代を担う教員のためにも必要なことだと考えている。 ・子どもたちがいきいきと活動していることが見えるような報告をいただいた。引き続き、充実した教育実践を続けていただきたい。大学も学生の実習でお世話になっているが、「学校はやりがいのあるところだ」と常日頃伝えていし、これからも伝えていきたい。今後も頑張っていたらと思う。 	
日時	令和7年2月20日(木)10:30～12:00
会場	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室